

## 「千代田区・11大学連携協力会議」(仮称) 学術・文化活動で交流

神田校舎のある千代田区と区内にある11大学(本学・大妻女子・共立女子・上智・東京家政学院短大・東京電機・二松学舎・日本・日本歯科・法政・明治)は、千代田区発展のために連携協力することを目的とした「千代田区・11大学連携協力会議」を設置、昨年12月基本協定を締結した。調印式には本学からは出牛正芳学長らが出席し、共同コメントを発表した。

千代田区内にある各大学では公開講座や図書館の相互協力などで開かれた大学として実践的な教育や社会貢献に力を入れている。また千代田区では100万人を活力とする自治体「千代田」を目指し、住み、働き、学び、集う人々と共にまちづくりに取り組んでいるが、中でも大学に対してはその大きな力として期待している。基本協定の主な内容は次のとおり。

- ①区内大学と区は、「都心の魅力にあふれ、文化と伝統が息づくまち千代田」の実現を目指し、相互に連携協力する。
- ②区内大学と区は、「安全と快適な千代田区の生活環境の整備に関する条例」に基づき、安全で快適なまちを実現するため、各々の責務を果たし、相互に協力する。
- ③区内大学と区は千代田・11大学連携協力会議を組織し、連携協力を進めるものとする。区は、区内大学の自主的な活動に対し積極的な支援を行う。

なお、千代田区からは連携協力の事例として次のことが提案されている。

- 「千代田学」研究交流活動—千代田学として学問分野を体系化し、継続的に研究活動・研究交流活動(シンポジウム)を行う。(歴史、文化、まちづくりなど)
- 江戸開府400年記念事業への参加(例)・11大学合同音楽祭・江戸天下祭へのブラスバンドなどの参加。

[2月8日/ニュース専修5面]

## 本学の学生・院生28人 進路などでアドバイス 高大連携「進路ガイダンス」生田東高校で



神奈川県立生田東高校(川崎市多摩区)で12月13日、大学生65人を招いて高大連携の「進路ガイダンス」が開かれ、本学からも要請を受けて28人の学生・院生が講師として参加。同校2年生約240人に対して、進路などをアドバイスした。

同校の進路ガイダンスは、これまで話を聞くだけの受身のもので、2年生の段階で進路未決定の生徒も多かった。より生徒を触発する方法をと、大学生を招いての小集団のキャリア・カウンセリング方式を企画。1昨年から実施し始めたものだ。

当日は3~4人のグループごとに学生1人がつき、事前アンケートで質問や、相談したい内容を生徒に書いてもらい、それをもとに、進路などを助言するという形で進められた。

同行して指導した蔭山雅博商学部教授は「生徒からは、大学での専攻の希望、将来の夢などが積極的に語られ、学生たちも実体験を話しながら助言し、お互いに親近感を持った対話が出来たようです。教員を目指している学生が多く参加しており、勉強になったと思います」と話している。

[2月8日/ニュース専修5面]